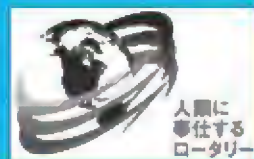


OITA WEEKLY

第37回例会 2017年3月28日 No.3235
＜本日のプログラム＞

例会日／毎週火曜日 12:30
例会場／トキハ会館 4F
会長／鈴木 宗 巖
幹 事／川 野 みどり

(会 食 12:20~12:40)

点 鐘 12時30分

ロータリーソング 四つのテストの歌

ゲスト・ビジター紹介 鈴木 会 長

会長の時間 鈴木 会 長

出席及び幹事報告 川 野 幹 事

委員会報告 関係委員長

ニコボックス 野村 S. A. A.

今週のお祝い

結婚記念日 山本 健会員 3月31日
瀬山 豊会員 4月2日

地区大会報告会

13時

第36回 3月21日
例会記録
出席報告

会員総数 (免除会員)	54名 (8)
出席総数 (免除会員)	30名 (1)
出席率	63.83%
ゲスト	2名
ビジター	0名
3月7日 修正出席率 93.62%	

会長の時間

鈴木会長

本日は、WBC日本代表で活躍中のソフトバンクホークス内川聖一選手のお父様で、お子様はもちろんのこと多くの高校球児を育ててこられた内川一寛(いっかん)様に卓話をさせていただきます。

佐伯に縁のある方々の会合が高城駅前の「誉(ほまれ)寿司」で開催される都度、内川一家と懇意にしておられる創業者で佐伯出身の肥川様から、内川一家の人柄の素晴らしさをお聞きしております。誉寿司には、内川選手を中心としたソフトバンクホークスの選手の写真や野球関連グッズが多数飾られています。

大分県弁護士会野球部「ジャガーズ」は、高齢者の野球バカにより結成された宿敵「YAPPA」の助っ人として活躍していたイケメンでとても爽やかな内川選手の弟の内川洋平選手から、何度かセンター～ライト間柵越えの特大ホームランを打たれております。洋平選手は、OBS東京支社への転勤が決まった最後の試合の際、ジャガーズに、ドリンクと新球を差し入れて下さいました。ジャガーズの熱烈なソフトバンクファンの某城西RC会員は、一寛様のご配慮により、弁護士会の野球大会のトロフィーに内川選手のサインをいただいたうえ、図々しくも内川選手と記念撮影までしていただいております。ジャガーズの一員として深く御礼申し上げます。

WBC決勝ラウンドでの内川選手の活躍による小久保ジャパンの勝利を祈念するとともに、どのようにしたら、素晴らしい人材育成ができるのかについてお話しをうかがえることを大変楽しみにしております。

幹事報告

川野幹事

1. 先週、幹事報告と同時にご案内を回覧しました6月4日(日)の「竹田RC60周年記念式典」ですが、当クラブがスポンサークラブです。多くの方の参加をお願いします。申込締切3月27日(月)までに事務局へお知らせください。
2. <会長より地区大会について呼びかけ>
 - ①24日(金)16:00~17:30地区指導者育成セミナーはキャンセルが相次ぎ、3名登録のところ、1名みの出席予定となっています。希望者も参加できますのでご都合つく方はどうぞ出席ください。
 - ②週報に、地区大会出席者および各会合時間帯を記載しています。各自確認くださいますようお願いいたします。

委員会報告

●地区大会について

仲村地区副幹事

- ・24日の袋詰め作業と25日本会議の受付に数名のお手伝いをお願いします

回覧しますのでご都合つく方は○×でお知らせください

- ・25日ホルトホールは駐車場が大変混み合うことが予想されるため、乗り合わせまたはタクシー等を利用くださいますようお願いいたします

卓話

“高校野球を通して”

情報科学高等学校 内川 一寛

本日は、皆様方に余り肩の凝らない話題を提供したいと思っております。どうかお気軽にお聞き戴きたいと思っています。いよいよ、2020年東京オリンピック、パラリンピックの年が来ます。その中で、準備や強化を図っている競技団体が沢山あると思います。野球界もその1つだと思います。その中で高校野球の役割はいったい何でしょうか。長年の指導を通して感じていることをお話ししたいと思っています。

高校野球の目標は勿論「甲子園」出場ですが、真の目的は人間形成だと思います。甲子園という同じ目標に向かう中で一つ一つ積み重ねていくことで完成する人間力です。とくに私の場合、「思いやりの気持ちを持つこと」「感謝の気持ちを忘れないこと」この2つが指導方針の中心になっています。そしてそれは、本当の意味でのキャッチボールができるかどうかのカギを握っていると考えます。

まず「思いやり」に関してですが、私が大事にしていることは、特別なことでなく、毎日練習後にグラブやスパイク等を綺麗に磨くという習慣です。丁寧に磨くことで、細かい部分によく目が行き届きます。その結果、弱っているところに早く気がつくことができ、早めにケアすることができます。例えば、グラブを磨いているとき紐が切れそうになっていれば、早めに気づいて紐を取り替えることができます。その結果、怪我の予防にも繋がり、いいパフォーマンスへとつながります。グラブやスパイクを磨くこと、つまり、自分の道具との対話をすることで、愛着が持てるようになり、グラブの状態、気持ちもわかるようになります。いわば、道具とのキャッチボールです。そして気づけば、磨き込んだグラブは自分の手にぴったり合った型にできあがってきます。そのころには、きっと一流のプレイヤーになり、一流のパフォーマンスができるようになってくるはずです。

こういったことは、野球のチームだけでなく、職場においても、同じだと思います。大きな目標ももちろん大事ですが、一番身近にいる人やものを大事にし、準備や片付けを丁寧に、大切に作る職場はきっと伸びる力を持っているような気がします。ようするに、まずは、目の前の環境を整え、大事にすることが目の前の人を育て、そしてその人たちが安定して良好な人間

関係を築けることが、ひいては、そのチーム、集団、職場を一回り力強いものに育てていくように思います。

「感謝の気持ちを忘れるな」ということについては、まず集団の中での自分の立場、役割を理解する事が大切だと思います。幼い頃から野球に親しみ、家族をあげて応援してもらったり、周囲の人に賞賛されることに慣れている球児たちは、ややもすると、家族のために野球をしてあげているという勘違いをしてしまう気がします。誰のお陰で野球ができるのか、というのはよく言われることなので、頭の中ではわかっているつもりかもしれませんが、雨が降ると当たり前のように車で送迎してもらい、当たり前のように高い道具を使っている選手たちを見ていると本当の意味での「感謝」ができていないのかと疑問に思うことがあります。何のために、誰のために、野球を続けているのか、それをまず理解させることが精神的にも技術的にも成長する秘訣ではないでしょうか。家庭の中、チームの中での自分の立場を知り、野球は自分が好きで自分のためにやっているんだと自覚し、野球をさせてもらっている「感謝」の気持ちを持てる人間こそが成長できると思います。自分のことは自分でするのが当たり前。そういう考え方を早くから身につけ、してもらえたことにはきちんと感謝できる。そのような選手は、いつも自分の頭で考え、いつも積極的に、主体的に動いています。チームの中での自分の役割を理解するのも早く、人より一步早く行動できるようになります。チャンスに対する一步も早く、ボールに対する一步も早く、相手へのフォローも早い。相手に感謝できる優しさと、野球での好プレーは、一見、対極の位置にありそうですが、自分と周囲の立場、立ち位置を瞬時に把握して、一步でも早く行動する、そんな所で、根っここのところはつながっているのだと私は感じています。

その昔、ベースボールが日本に入ってきて「野球道」になりました。ベースボールと野球という言葉が違うように、言葉だけでなく考え方にも違いがあることは、よく言われることです。ベースボールと違って野球の大きな特徴は、犠牲バントや進塁打にみられます。スモールベースボールと言われることがあります。日本ならでは戦略です。「自分を犠牲にしてでも集団のために」という考え方がそこにはあります。自分一人が目立つプレーをするのではなく、チームの中での自分の役割を、その瞬間その瞬間で判断し、行動する。自分一人のガッツポーズよりも、チームのみんなとのハイタッチ。それを目指して日本の野球の雰囲気はできあがったと思います。そこにはやはり、根っこに感謝と思いやりがあるのだと思います。

野球の基本は「キャッチボール」と言われますが、ボールを捕って投げるだけがキャッチボールではない

と思います。そこで本当に投げ合っているのは、実はボールではなく、「心」です。人と人、人と大切な道具、お互いが、お互いの気持ちを理解し投げ合うことで「心のキャッチボール」をしています。この「真のキャッチボール」が人を育て、人と人をつなげ、本物の集団を作ります。ただ有能な人材が集まればいいというのではなく、そこで本当の意味でのキャッチボールができてこそ、いい集団、いいチーム、いい職場になると私は考えます。

そして私の夢は、私の教え子たちが、いつの日か、家庭で、職場で、最高のキャッチボールをして、最高のチームを作ってくれることです。今日のご静聴ありがとうございました。

ニコボックス 野村 S. A. A.

●安藤昭三会員（60口）

3月25日、無事結婚60年を迎えました。これも先輩、同僚、後輩の諸兄姉の御指導、御援助の賜物です。

ロータリーの皆様様の永年のご交誼に感謝し、60口ニコボックス致します

●永田悠三郎会員（7口）

本日70歳、古希を迎えることができました。これも皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

これからも宜しく願い申し上げます。

●今川茂治会員（5口）

1983年3月18日大分ゼロックス株式会社設立。今年満34才となり35年目をスタートすることができました。

これまで大分県下のお客様、富士ゼロックスをはじめとした取引先、そして社員をはじめ皆様方のご支援を得て今日まで事業を行うことが出来ました。

過去の経過を振り返ってみますと、設立時の昭和58年は運が良いことに、いわゆるバブルの初期であり、また以降もIT関連の企業として事業を行うことが出来ました。その途中“失われた20年”といわれた時代も、まずまずの業績で推移してきましたが、さすがにリーマンショックののち、3期ほどは少し足踏みをしました。

その後ウィンドウズのサポート切れによりここ3～4年は業界として潤ってきましたが、市場が成熟し、これから我が社のメインである、複合機市場をはじめ、取扱商品の競合により今後企業としての存続を含め厳しい時代を迎えると予想しております。

この危機を役職員全員で協力して乗り切ってまいります。引き続き皆様方のご支援をお願い致します。

●工藤洋市会員（1口）

本日、3月21日で結婚30周年（真珠婚）を迎えました。何度か危機的状況もありましたが、互いの辛抱と周りの皆様のお力添えで乗り越えてきました。

皆様への感謝の気持ちを込めてニコボックス致します。

お知らせ

1. 地区研修・協議会

4月9日(日) 10:00~16:30熊本学園大学
会長部会:仲村(代理)、幹事部会:馬場、管理運営部会:山本舜、公共イメージ部会:和田政、会員増強部会:工藤、社会奉仕部会:江原、国際奉仕部会(地区兼任):荘野、青少年奉仕部会:鎮西、和田康、R財団部会:栗山 以上10名
※大分駅~現地バス乗車3名/山本舜、和田政、和田康

2. 人吉RC創立60周年記念式典

5月20日(土) 13:30~20:00
記念式典 人吉市カルチャーパレス
記念祝宴 清流山水花あゆの里
出席者:鈴木会長

3. 竹田RC創立60周年記念式典

6月4日(日) 15:00~「ホテル岩城屋」
記念式典15:00~、祝賀会17:00~

例会予定

- 4月4日(火) ゲスト卓話/西村 修 氏
(株)時事通信社支局長
“時事通信社のご紹介と今後の新聞業界について”
- 4月11日(火) 新会員歓迎夜の例会
18:30点鐘~例会行事~懇親会
アリストンホテル大分2階アリストンホール
出席:8,000円、欠席4,000円(後日請求)
- 4月18日(火) 工藤 隆ガバナー補佐訪問
地区研修・協議会報告会
- 4月25日(火) 卓話/澤田達雄 氏
(大分マリーンプレス水族館「うみたまご」飼育部)
“動物たちの「ゆる〜い解説」”
- 5月2日(火) ※休会/昼も夜も例会はありません
- 5月9日(火) 夜間例会 18:30点鐘(18:20~食事)
大分オアシスタワーホテル21階エトワール
卓話/山本舜治会員
“おいしく食べて全身健康”

- 5月16日(火) 卓話/工藤洋市会員
- 5月23日(火) 新・旧クラブ協議会(全員協議会)
※現年度委員長より活動まとめ発表
- 5月30日(火) ※休会/昼も夜も例会はありません
- 6月6日(火) 新年度クラブ協議会(全員協議会)
新年度委員会ごとに次年度活動話し合い
- 6月13日(火) 夜間例会 18:30点鐘(18:20~食事)
大分オアシスタワーホテル21階エトワール
- 6月20日(火) 卓話/濱田秀夫会員
- 6月27日(火) さよなら夜の例会
18:30点鐘~例会~懇親会
アリストンホテル大分2階アリストンホール
出席:8,000円、欠席4,000円(後日請求)

例会変更

クラブ名	例会日	変更の理由	通常例会場
別府東	3/30 (木)	新会員歓迎会	杉乃井ホテル
大分南	3/31 (金)	夜の親睦例会	トキハ会館
大分東	4/13 (木)	野外家族例会	トキハ会館
大分臨海	4/17 (月)	新会員歓迎例会	★★★ 大分オアシスタワーホテル
大分城西	4/19 (水)	創立27周年記念例会	大分オアシスタワーホテル
大分東	4/20 (木)	夜の例会	トキハ会館
大分臨海	4/24 (月)	親睦家族バス旅行	大分オアシスタワーホテル
大分1985		大分・熊本地震支援プロジェクト	トキハ会館
大分南	4/28 (金)	夜の親睦例会	トキハ会館

週報編集担当者

4月4日号	仲摩和雄
4月11日号	高橋能樹
4月18日号	岩田俊昭
4月25日号	福田健二

四つのテストの歌

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか
心がけよう四つのテスト

事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F
TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386
TEL 097 (538) 1111 (内線5488-89)
E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>